

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和5年2月7日（火）10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原管理官補佐、星上席技術研究調査官、安部室長補佐、小西係長

東京電力ホールディングス株式会社 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

株式会社テプコシステムズ 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁は、2022年12月20日の第34回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（以下「事故分析検討会」という。）で報告された「3号機の水素爆発に寄与した漏えい経路と爆発メカニズムの推定」に関し、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）とテプコシステムズに対し、解析における空間解像度、詳細な境界条件及びその設定根拠、並びに設定する境界条件の違いによる燃焼可能領域の変化について確認した。
- また、原子力規制庁から、東京電力およびテプコシステムズに対し、上記の情報は事故時のガス挙動を把握する上でとても貴重な結果であるため、事故分析検討会で引き続き議論する旨を伝えた。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨の回答があった。

6. 資料

➤ なし

以上